

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「悪い」超幅が拡大した。
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が拡大した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	食料品、輸送用機械	自社製品への引き合いの強まり
	悪化	金属製品、はん用・生産用・業務用機械、電気機械、鉄鋼、化学、窯業・土石製品、繊維	内外需要の低迷 暖冬少雪の影響
非製造業	改善	卸売、情報通信	自社製品・サービスへの引き合いの強まり
	悪化	小売、建設、物品賃貸、宿泊・飲食サービス、電気・ガス、運輸・郵便、不動産、鉱業・採石業・砂利採取業	暖冬少雪の影響 新型肺炎の影響

- **先行き**については、「悪い」超幅が拡大する見通しである。
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が拡大する見通し。

(事業計画)

- 2019年度の**売上高**および**経常利益**は、前年を下回る見込みである。前回調査対比では、売上高、経常利益ともに下方修正となった。
—— 経常利益を前回調査対比で見ると、製造業では、コストアップによる利幅縮小や暖冬少雪の影響などから、下方修正となった。非製造業では、暖冬少雪や新型肺炎の影響などから、下方修正となった。
- 2020年度の**売上高**は、前年を上回る計画、**経常利益**は、前年を下回る計画である。
—— 経常利益は、製造業で、コスト削減の取り組みやスマホ関連需要の持ち直しなどから、増益計画となっている。非製造業は、コストアップによる利幅縮小や新型肺炎の影響などから、減益計画となっている。

- 2019年度の設備投資は、前年を上回る見込みである。前回調査対比では、下方修正となった。

—— 前回調査対比でみると、製造業、非製造業ともに、投資計画の縮小や先送り、後ずれなどから、下方修正となった。

- 2020年度の設備投資は、前年を下回る計画である。

—— 製造業は、前年の大型投資の反動や新型コロナウイルスによる景気の先行き不透明感などから、前年を下回る計画である。非製造業は、能増投資や老朽化設備の更新投資などから、前年を上回る計画である。

(その他の判断項目)

- 販売価格判断D. I.は、前回調査並みの「下落」超となった。仕入価格判断D. I.は、「上昇」超幅が縮小した。
- 雇用人員判断D. I.は、「不足」超幅が縮小した。
- 資金繰り判断D. I.は、「楽である」超幅が縮小した。貸出態度判断D. I.は、「緩い」超幅が縮小した。借入金利水準判断D. I.は、「低下」超幅が小幅拡大した。

以 上